

## 社団法人日本ゴルフツアー機構 平成 19 年度(2007 年度)事業報告

### 1. ゴルフ試合の主催

ゴルフ試合の主催については、本年度は以下のような事業を実施した。

ツアートーナメント

UBS 日本ゴルフツアー選手権 宍戸ヒルズ 日程:6 月 28 日から 7 月 1 日の 4 日間  
場所:宍戸ヒルズカントリークラブ(茨城県笠間市)

チャレンジトーナメント

望月東急 JGTO チャレンジ 日程: 6 月 21 日から 22 日の 2 日間

場所: 望月東急ゴルフクラブ(長野県)

猿島 JGTO チャレンジ 日程: 8 月 2 日から 3 日の 2 日間

場所: 猿島カントリー倶楽部(茨城県)

日立 3 ツアーズチャンピオンシップ(PGA、LPGA との共同主催)

日程: 12 月 7 日から 8 日の 2 日間 場所: キングフィールズゴルフクラブ(千葉県)

### 2. 本機構の賛助会員が主催するゴルフ試合の主管

ゴルフ試合の主管については、以下のような事業を実施した。

ツアートーナメント 21 試合への競技担当ツアーディレクター、競技委員、広報委員及び職員の派遣

チャレンジトーナメント 9 試合への競技担当ツアーディレクター、競技委員、事務局員、広報委員及び職員の派遣

日本オープンゴルフ選手権競技、日本プロゴルフ選手権大会への競技委員及び広報委員の派遣

日立 3 ツアーズチャンピオンシップ等、関連競技への競技担当ツアーディレクター、競技委員、広報委員及び職員の派遣

全米オープン日本予選に競技委員を派遣

### 3. 次年度の試合出場資格及びランキングの決定

日本ゴルフツアー機構が主催・主管するツアートーナメント及びチャレンジトーナメントへの出場資格者(ツアーメンバー資格)及びランキングの決定については、以下のような事業を実施した。

ファーストクオリファイングトーナメント(3 日間 54 ホール)

2007 年 7 月 31 日(火)~8 月 2 日(木)の 3 日間

鷹彦スリーカントリー(茨城)、六甲国際ゴルフ倶楽部 西コース(兵庫)

2007 年 8 月 7 日(火)~8 月 9 日(木)の 3 日間

房総カントリークラブ房総ゴルフ場(千葉)、ファイブエイトゴルフクラブ(栃木)、

鬼ノ城ゴルフ倶楽部(岡山)

セカンドクオリファイニングトーナメント(4日間 72ホール)

2007年9月4日(火)～9月7日(金)の4日間

サンヒルズカントリークラブ(栃木)、有馬ロイヤルゴルフクラブノーブルコース(兵庫)、  
オリムピックゴルフ倶楽部(兵庫)

2007年9月11日(火)～9月14日(金)の4日間

富岡倶楽部(群馬)、ゴールデンバレーゴルフ倶楽部(兵庫)

2007年10月2日(火)～10月5日(金)の4日間

ザ・ダイナミックゴルフ倶楽部(福島)、五浦庭園カントリークラブ(福島)、  
大多喜城ゴルフ倶楽部(千葉)、備中高原北房カントリー倶楽部(岡山)、  
かさぎゴルフ倶楽部(京都)

2007年10月16日(火)～10月19日(金)の4日間

セババレストロスゴルフクラブ(茨城)、春日井カントリークラブ(愛知)

サードクオリファイニングトーナメント(4日間 72ホール)

2007年10月30日(火)～11月2日(金)の4日間

太平洋クラブ&アソシエイツ益子コース(栃木)、ホウライカントリー倶楽部(栃木)  
小野東洋ゴルフ倶楽部(兵庫)

2007年11月6日(火)～11月9日(金)の4日間

チャミング・リゾート ワイルドダックカントリークラブ(茨城)、

下関ゴールデンゴルフクラブ(山口)、JFE 瀬戸内海ゴルフ倶楽部(岡山)

ファイナルクオリファイニングトーナメント(6日間 90ホール)

2007年11月28日(水)～12月1日(土)の4日間

セントラルゴルフクラブ(茨城) 東・西コース

2007年12月2日(日)～12月3日(月)の2日間

セントラルゴルフクラブ(茨城) 西コース

#### 4. ゴルフのルール及びマナーに関する知識の向上

ゴルフのルール及びマナーに関する知識の向上については、本年度は以下のような事業を実施した。

競技担当ディレクター及び競技委員によるルール勉強会

1月31日から2月2日までの3日間、8月17日から18日までの2日間、

12月20日から21日までの2日間の計3回

ツアーメンバーを対象としたマナーセミナーを実施(ツアートーナメントでは接遇やマナーの専門講師が担当し、チャレンジトーナメントでは中嶋常幸選手が講師を担当した)

ファイナルクオリファイニングトーナメントにてセミナーを実施

ファイナルクオリファイニングトーナメント出場者を対象とした、ツアープレーヤーとしてト

ーナメントに参戦するために必要な知識を高めるためのセミナーを実施

5. 懲戒・制裁規程の制定

ツアープレーヤー及びトーナメント全体のイメージアップと、トーナメントの価値向上のために、懲戒・制裁規程を制定して迅速かつ公正な対応を行なった。また、マナー委員会設置規程に基づいて委員会を7回開催した。

6. 海外ツアーとの交流

海外ツアーとの交流は以下により実施した。

ジャパンゴルフツアー賞金ランキングによる主たる海外トーナメントへの出場(全英オープン、全米オープン、全米プロ、マスターズ、ワールドカップ、ワールドゴルフチャンピオンシップ、ヨーロッパツアー)

海外トーナメントへの競技員の派遣(4大メジャートーナメント4回、ワールドゴルフチャンピオンシップ1回、その他4回)

ロイヤルトロフィー(欧州対アジア対抗戦)に、谷口徹、平塚哲二、J・M・シン、Y・E・ヤン、S・H・ホの5選手を派遣。また、キャプテンは尾崎直道選手が務めた。

ワールドカップ日本代表選手(谷原秀人、平塚哲二)の派遣とサポート

海外トーナメントへの視察及び訪問(2回)

インターナショナルフェデレーション会議への出席(3回)

オフィシャルワールドゴルフランキング会議への出席(3回)

カナダで開催されたプレジデントカップを表敬訪問。

社団法人日本ゴルフトーナメント振興協会主催の海外研修に参加

海外ツアー、海外ゴルフ協会との連絡、情報交換、ミーティング

ダイナスティカップ(日本対アジア対抗戦)は開催延期

7. 刊行物の企画及び出版

刊行物の企画及び出版については以下のような事業を実施した。

刊行物: ツアーニュースを毎月1回、年間12回

出版物: 2007 ジャパンゴルフツアーガイドブック

8. その他目的を達成する為必要な事業

その他目的を達成する為の事業としては、本年以下のような事業を実施した。

アンチ・ドーピングの普及・啓発活動のための研究を実施

ツアーチャンピオンズクラブにおけるゴルフコースとの提携(18コース)

サポーターズ倶楽部の設立(第1次会員数は2,422名)

ツアープレーヤーの応援バッジを販売。ギャラリーサービスとチャリティ活動の一環として、トーナメント会場にて4,366個を販売し、2,183,000円の売り上げとなった。売

上金の収益から 218,000 円を高松宮妃癌研究寄金へ寄贈。また、期末在庫の約 1,400 個をジュニアイベント等で活用。

インターネットホームページ

ゴルフの普及のためインターネットホームページ (<http://www.jgto.org>) 及び携帯サイト (<http://mobile.jgto.org>) にてゴルフの各種情報を提供

年間表彰式

12月3日にANA インターコンチネンタルホテル東京にて、賞金王、平均ストローク、最優秀選手、新人賞島田トロフィ、ユニシスポイントランキング、各部門賞、特別賞などを表彰

功労者表彰

12月3日に故・福井覚治氏へ功労者表彰の授与式を実施

社会貢献活動

a. UBS 日本ゴルフツアー選手権 宍戸ヒルズにおける社会貢献活動

- 友部ロータリークラブを通じてポリオ撲滅基金へ 602,132 円を寄贈
- NPO 法人アサザ寄金に 497,000 円を寄贈
- NHK 厚生文化事業団に 100,000 円を寄贈
- 小学校にスナッグゴルフ・スクールセットを 19 セット寄贈し実技講習会を実施

b. スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会における社会貢献活動の一環として、小学校にスナッグゴルフ・スクールセットを 4 セット寄贈し実技講習会を実施

c. ツアーメンバーによるスナッグゴルフの寄贈と指導

- 2007年3月9日(金)に高橋竜彦プロから出身小学校である大野城市立大野北小学校(福岡県大野城市)へ寄贈
- 2007年10月9日(火)に芹澤信雄プロから出身小学校である御殿場市立御殿場小学校(静岡県御殿場市)へ寄贈
- 2007年10月17日(水)細川和彦プロから南相馬市を通じてNPO法人はらまち倶楽部(福島県)へ寄贈

d. ツアーメンバー及びツアープレーヤーによるチャレンジトーナメントでのゴルフ指導及びプロと子供たちとの交流

- PRGR CUP オークビレッジ 4月7日
- カニトップ杯 杜の都 GC 7月28日
- シンクス Novil カップ Jクラシック GC 9月22日
- BMW チャレンジカップ 静ヒルズ CC 9月29日
- PRGR CUP FINAL GC 成田ハイツリー 10月21日

ツアーメンバーによる社会貢献(福祉施設および小学校訪問)

- ◆ 谷口徹選手が、前年度の3ツアーズチャンピオンシップで得た賞金を、奈良県内の6つの児童養護施設と1つの母子生活支援施設に寄贈し、3月3日に児童養護施設愛染寮を訪問。

- ◆横尾要選手が、3ツアーズチャンピオンシップで得た報酬を、東京都内の児童養護施設と母子生活支援施設のそれぞれに寄贈。3月15日に児童養護施設目黒若葉寮を訪問。
- ◆つるやオープンにて、川西市の子供会へのレッスン会とトーナメント見学を実施。参加選手は、高山忠洋、井戸木鴻樹、太田直己、今井克宗、富田雅哉、今野康晴、石丸昌史の7選手。
- ◆中日クラウンズにて、心身障害者小規模授産施設たんぼぼ作業所を、中嶋常幸、鈴木亨、桑原克典、星野英正、上田諭尉の5選手が施設訪問。また、地元ジュニアへのレッスン会を実施。参加選手は、市原建彦、溝口英二、中村龍明、上井邦浩、G・ホルバーク、P・ケーシーの6選手。
- ◆マンシングウェアオープンKSBカップ開催週の月曜日に、岡山駅前広場にて5選手(すし石垣、武藤俊憲、伊澤利光、近藤智弘、矢野東)が参加し、チャリティサイン会を実施して、チャリティ金を財団法人岡山県体育協会へ寄贈。
- ◆谷口徹選手がマンシングウェアオープンKSBカップにて獲得したベストスコア賞の100万円を、開催地地元の岡山県内の児童養護施設10ヶ所に分散して寄贈。
- ◆三菱ダイヤモンドカップにてプロアマトーナメントの報酬の50%をUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)へチャリティ。
- ◆六本木ヒルズにてファンとの集いを開催し、チャリティオークションで集まった基金等をポリオ撲滅予防基金やジャワ島地震災害義援金として寄贈。参加選手は、高橋竜彦、宮本勝昌、細川和彦、立山光広、矢野東、宮里聖志、宮里優作の7選手。
- ◆UBS日本ゴルフツアー選手権 穴戸ヒルズにおいて、オリジナルマグカップとエコバッグを無料配布。ギャラリープラザ売店の麦茶の売上金の一部をアサザ基金として寄贈。
- ◆全英への道ミズノオープンよみうりクラシックにて、杉原輝雄と竹本直哉の2選手が西宮市立塩瀬中学校を訪問。
- ◆ウッドワンオープン広島にて、ジュニアボランティアと地元ジュニアを対象にレッスン会を開催。参加選手は、溝口英二、井上信、上平栄道、海老根文博、谷原秀人の5選手。
- ◆サン・クロレクラシックにて、高山忠洋、富田雅哉、小田孔明、ドンファンの4選手が、火曜日に社会福祉法人小樽北勉会ケアハウス朝里温泉を施設訪問。また、土曜日に伊澤利光選手によるサイン会を開催。
- ◆KBCオーガスタにて、高橋竜彦、宮里聖志、野上貴夫、白瀧英純、井手口正一の5選手が、月曜日に会場内で行われたキッズゴルフスクールに協力。参加料を全額地元へ寄贈。
- ◆芹澤信雄選手が、自身の出身小学校である御殿場小学校(静岡県)にスナッグゴルフ・コーチングセットを寄贈。10月9日(火)に小学校に訪問しての寄贈セレモニ

- ーと講演会、実技体験会などを実施。
  - ◆篠崎紀夫選手が、ANAオープン優勝による副賞のお米300キロを、北海道北広島市の児童養護施設天使の園と、千葉県千葉市の母子生活支援施設旭ヶ丘母子ホームに150キロずつ寄贈。
  - ◆ブリヂストンオープンにてジュニアレッスン会を開催。参加選手は、宮本勝昌、横尾要、宮里優作、谷原秀人、桑原克典、小田龍一の6選手。
  - ◆ダンロップフェニックスにて、宮崎市内の8つの福祉施設から215名を招待。協力選手は、横尾要、倉本昌弘、宮里優作、高橋竜彦、武藤俊憲、S・コンラン、市原建彦、兼本貴司、小田孔明の9選手。
  - ◆カシオワールドオープンにて、高橋竜彦、竹本直哉の2選手が、高知県安芸郡芸西中学校を訪問。
  - ◆日立3ツアーズチャンピオンシップに5名の選手(谷口徹、片山晋呉、谷原秀人、近藤智弘、深堀圭一郎)が参加。大会によるチャリティは下記の通り。
    - <寄贈内訳>
      - 1,000,000円 市原市
      - 8,848,840円 社会福祉法人全国社会福祉協議会を通じて全国の各施設へ
      - 8,848,840円 NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク
      - 10,000,000円 NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会
  - ◆谷口徹選手がHitachi 3Tours Championship 2007の賞金(一部税務関連費等を除く)を、地元の奈良県内にある児童養護施設6ヶ所、母子生活支援施設1ヶ所の計7ヶ所に寄贈。
    - <寄贈先> 愛染寮、 いかるが園、 大和育成園、 飛鳥学院、 天理養徳院、 嚶鳴学院、 佐保山荘
    - <寄贈額>各84万3428円 7ヶ所合計590万3996円
- 各トーナメント会場における少年に対するゴルフの指導
- 第5回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップを、6月30日に宍戸ヒルズカントリークラブで、全国から予選を勝ち抜いてきた20校の小学校が参加して開催
- 高松宮妃癌研究基金へ 1,459,643円を寄贈
- 能登半島地震(3月25日発生)及びソロモン沖地震(4月2日発生)の被災者に対して、それぞれ50万円ずつ計100万円を寄付。能登半島地震は石川県を通じて、ソロモン沖地震は日本ユニセフを通じて寄贈
- 新潟県中越沖地震(7月16日発生)に関する義捐金として500,000円を寄贈

以上